

けいはんなリフレッシュウォーク（A班） “東本願寺(お東さん)と渉成園探訪”

東本願寺は浄土真宗本願寺派の本山。

渉成園は第13代宣如上人の隠居所。書院・茶室・楼閣がある庭園。

これらの京都の名所を洛中洛外ガイドのご案内で探訪しました。

開催日:2026年10月2日(金)

集合場所:JR京都駅中央改札口

集合時間:9時45分

東本願寺

阿弥陀堂門



阿弥陀堂



阿弥陀様



親鸞聖人は、修行のもとで悟りを開く天台宗や真言宗よりも、民衆には、南無阿弥陀仏を唱えることで浄土に迎えられ
る他力本願が必要とし浄土真宗を起す。

江戸幕府が本願寺を東西に分けて公認し、東本願寺は、京都の玄関口に壮大な伽藍を構えることで、真宗門徒の拠点として発展。

御影堂門



御影堂



涉成園

涉成園は、東本願寺の飛び地境内池。将軍家光が東本願寺第 13 代宣如上人に寄進。宣如上人は、隠居地として開拓地の一部を当てて庭園にしたもの。印月池を中心に臨池亭・傍花閣などの建物を配置。池の水は琵琶湖疎水を引き入れており、近代京都の水利史ともつながる庭園として評価されている。明治期になると涉成園は、明治天皇の休憩所として使われ、大玄関はその名残である。

涉成園入口



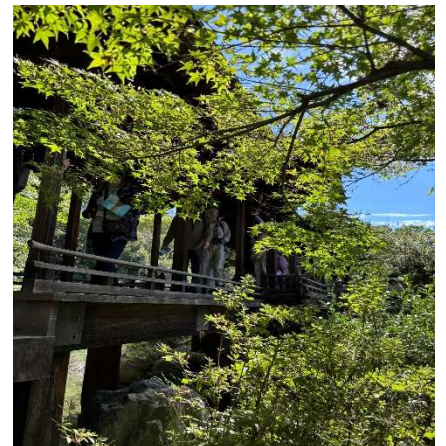
大玄関



印月池



回棹廊



傍花閣



臨池亭



洛中洛外ガイドの解説により、東本願寺と涉成園は、宗教史・庭園史・近代京都の都市形成が重なる場所であり、宗教史や庭園史の背景を理解しながら巡ることができ、単なる観光では得られない学びのある探訪となりました。